

訪問診療のご案内

外来への通院が難しい患者さんには、医師による訪問診療を行っています。定期的に病院に通うことが難しい方などが対象です。

対象となる方

- ・寝たきりなどの身体状況により通院が難しい方
- ・ご家族の都合で通院が難しい方
- ・免許を返納したため通院が難しい方 など



訪問時間

月～金曜日の午後

主な診療内容

診察、薬の処方

当院は在宅療養支援病院として登録しています

- ・訪問看護と連携し、24時間365日病状の変化に対応します。
- ・ご本人、ご家族の希望に応じて、医師を含めた他職種連携で往診やご自宅でのお看取りもできます。
- ・胃ろうや膀胱ろうの交換が必要な方や自宅での緩和ケアを希望される方にも対応しています。



訪問診療を希望される方は、かかりつけ医または外来看護師へご相談ください。



めだか

さんくろうニュース

5月号

2024年 (No.94)

MEDAKA

巻頭 新入職員を紹介します

Topics 地域のリハビリを支援する
2つの施設がオープンしました！



新任の医師を紹介します

そのだ しげる
園田 茂 医師

慶應義塾大学医学部卒業
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、義肢装具専門医



たかはし しょうこ
高橋 正子 医師

藤田医科大学病院医学部卒業
リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士



— 医師を志したきっかけは？

園田：「命を救う」などの高尚な理由ではなかった気がします。

— もし医師になっていなかったら？

園田：学校の教員、かな。

— 専門の診療科は？

園田：リハビリテーション科です。治せるものは治し、治せなければ補ったり別な方法を使ったりしてでも、なんとかしようとするという、リハビリテーションに魅力を感じています。

— 趣味や特技は何ですか？

園田：卓球ですね。スポーツ少年団に紛れ込んで、卓球を続けています。

また、最近のマイブームは、「ラノベ(※)」を読むことです。

— 日頃の診療で心がけていることは？

園田：診療では笑顔で接することを心がけています。

患者さんとの信頼関係を大事にし、患者さんの気持ちに沿ったりハビリを実践したいと思っています。一緒に病気を理解し、取り組んでいきましょう。



※ ラノベ：ライトノベルの略。ライトノベルは、英単語の light と novel を組み合わせた和製英語で、日本で生まれた娯楽小説のジャンルの一つ。業界内でも明確な基準は確立されていない。マンガやイラスト、挿絵を多用し、登場人物のキャラクターイメージや世界観設定を予め固定している。ライトノベルを発行しているレーベルから出版されているなどが定義として挙げられている。(参考：ウィキペディア)

— ご出身はどちらですか？

高橋：香川県三豊市。大平正芳元総理大臣の出身地です。同じ高校でした。うどん以外で最近は、ウユニ湖に似た父母ヶ浜が人気です。なかなか良いところですよ。

— 医師を志したきっかけは？

高橋：とにかく四国を出て暮らしてみたかった私に、親から「医師免許さえとれば、どこに行ってもいい」と言われたのが最初のきっかけです。

— 専門の診療科は？

高橋：リハビリテーション科です。病気でできなくなったことを、少しでもできるように、関連職種のスタッフと一緒に、様々な方法を使うことで、患者さん自らが日常の暮らしを獲得し

ていくのを手伝える仕事です。素敵な仕事だと思います。

— 趣味や特技は何ですか？

高橋：趣味は美術館巡りと、自然の中を歩くことです。また、令和になってピアノを始めました。あまり弾けませんが、楽しいです。

— 日頃の診療で心がけていることは？

高橋：患者さんの良いところを探しつつ、見守ることでしょうか。より良く、自ら活動できるよう、ご家族をはじめ、いろんな職種の方も借りつつ、一緒に考えながらリハビリを進めていきましょう。



地域のリハビリを支援する2つの施設がオープンしました！

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、当院では地域包括ケアシステム（※）の中で、地域のリハビリを支援しています。このたび、リハビリを支援する2つの施設が、旧ノアノアの跡地にオープンしました。

住所：愛知県豊田市小坂町6丁目58
（旧リハビリデイサービスノアノア）



※地域包括ケアシステム：住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の関係機関が連携し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制



●交通案内



通いの場 のびのび

月～金曜日の10時から、リハビリ専門職が作成した**体力アップのための体操**を行っています。どなたでも無料で参加可能で、予約も不要です。ぜひご利用ください。

午後は、自主グループなどの活動にご利用いただけます。そのほか、**健康や介護などの相談**にも対応しています。ご利用の際は、事前に下記に**電話予約**をしてください。



開室日 月～金曜日（土日・祝日・年末年始はお休みです）
時間 9:30～12:00 13:00～15:30
電話 0565-41-6011（担当：村田）

リハビリデイサービス lino（リノ）

リハビリデイサービス lino（リノ）は、リハビリデイサービス ao と同じ、**短時間制のリハビリデイサービスを提供する施設**です。「lino」には、ハワイ語で「光る」「輝く」「結びつく」などの意味があります。皆さんの光輝く生活・人生のために、一人ひとりの輝きを見つけ、皆さんとの結びつき・ご縁を育む場所でありたいという思いを込めています。

リハビリデイサービス lino では、理学療法士・作業療法士が利用者さんの個々の希望に沿って、日常生活の幅を広げるためのプログラムを提案します。人生の喜びを見つけ、目標を持って楽しくリハビリができるようサポートします。ぜひご利用ください。



開室日 月～金曜日（土日・年末年始はお休みです）
時間 9:30～12:30 13:30～16:30
電話 0565-41-3445（担当：玉井）

入院中も 四季を楽しむための病棟行事

三九朗東リハビリテーション病院 リハケア部 部長 松重 好男

三九朗東リハビリテーション病院が開設し、1年を迎えました。回復期リハビリを担う当病院では、日々のリハビリだけでなく、入院中に四季に合わせた行事などを体験できるよう工夫しています。今回は、当院の病棟行事を紹介します。

園芸(通年)

三九朗病院と同様、プランターで野菜を育てる「39ファーム」を実施しています。初年度はミニトマトやジャガイモなどを栽培し、収穫しました。ブルーベリーの木も植えたので、実がなるのが楽しみです。



プランターにブルーベリーを植えました



育てたジャガイモを収穫！

スイカ割り(7月)

当院を退院した患者さんからスイカをいただきました。スイカ割りをみんなで楽しみ、おいしくいただきました。



割れるかな？



おいしそう！

クリスマス会(12月)

手作りのクリスマス会を行いました。プレゼントも看護補助者さんを中心にみんなで手作りました。



スタッフがサンタクロースに扮します



みんなで作ったストラップ

少しでも入院生活で四季を感じていただけるよう、今後も活動が続けていきます。

インドネシア 特定技能外国人の受け入れ



三九会 看護部長 加納 明美

三九朗東リハビリテーション病院では、今年3月22日に、インドネシア特定技能外国人(※)3人を受け入れました。来日までに医療用語を含めた日本語を学んできていますが、さらに当院で仕事をしながら勉強をする時間を作って学び続けています。最終的には、国家資格である介護福祉士を取得することを目指しています。

また、日本で5年以上看護師として働き、回復期リハビリテーション病棟での勤務経験もあるインドネシア人の看護師も入職しました。

インドネシア人の約9割はイスラム教を信仰しており、女性はヒジャブ(女性が髪を隠すために頭にかぶる布)を着用する、豚肉・アルコールは口にしないなど、日本とは習慣も異なります。今回入ったインドネシア人スタッフも、信仰に配慮しながら勤務をしています。当院では、グローバル社会の名のとおりに、国籍や民族を超え、日本人職員も外国人職員も働きやすい職場を作り、患者さんが安心してリハビリできる環境を提供していきます。

皆さんも新人スタッフにお気軽にお声がけください。なお、日本語の勉強中ですので、ゆっくりお話しいただけるとありがたいです。



ついに病院へ到着！



3人そろって(^^)



ウェルカムボード♡



よろしくお願ひします！

※ 特定技能外国人：介護分野など、国内人材を確保することが困難な状況にある産業分野で一定の専門性・技能をもち、「特定技能」の在留資格で日本の職場で働く外国人

さんくろうACPプロジェクトから

さんくろうACPプロジェクト 看護師 加藤 瞳

意志実現サポート ～寄り添いたい～

どのように生きるかは個々で違うのが当たり前で、多様性の時代とされている中、ライフステージにおける選択も、そのときの考えで変わっていきます。長い人生の中では、病気やけがに見舞われることもあります。病気やけがによっては、退院後も前の状態に完全に戻らないこともありますが、希望をもって自分らしい人生を送るためには、「ウェル・ビーイング (Well-being)」という考え方が大切です。**ウェル・ビーイングとは「良好な状態、多面的で持続的な幸せな状態」を表していて、WHO (世界保健機関) の WHO 憲章では「健康」の定義の本幹となっています(※)。**

当院では、回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さんのウェル・ビーイングを支援する「意志実現サポート～寄り添いたい～」として取り組んでいます。ご本人(ご家族)の病気や夢を伺って現状に納得できる形で向き合えるよう、多職種でサポートしています。

(目標・希望)
自分で車を
運転したい

(困っていること)
歩けないこと

(趣味)
将棋・相撲

(目標・希望)
友達とコンサートに
行きたい

(暮らしたい場所)
家



※世界保健機関 (WHO) 憲章の前文では、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態 (well-being) にあることをいいます (日本 WHO 協会：訳)」とされています。

運動習慣を身につけよう!



外での活動が快適な気候となりました。ウォーキングを始めてみませんか?
今回は、日常にも活かせる歩き方について紹介します。

理想的なウォーキングフォーム



継続のヒント 歩数計を活用する
目標を決めて楽しく行いましょう。1日7000歩を目指してみましょう!

ケガの予防 ウォーキング前・後にストレッチを行う
疲労やケガの予防のために、ストレッチをしっかりと行いましょう!

注意点 こまめに水分補給をする
運動中は汗をかいて水分が不足しやすいため、こまめに水分を摂りましょう!

～ご質問などありましたら 4F フィットネスまでお越しください～

見学・無料体験受付中! スタジオ参加もできます!!

入館時の検温・手指消毒・マスク着用にご協力ください

●メディカルフィットネス SHIN-SHIN とよた (三九朗病院内) ☎0565-34-6272

【体験受付】10:00~19:00 (休館日: 日曜日) 【営業時間】9:00~21:00 (土・祝20:00まで) (休館日: 日曜日)